

可決



6月定例会のあらまし

改選後初の平成30年第2回定例会は6月1日から21日までの21日間の会期で開催し、報告6件、議案48件、請願1件、発議案4件が提案されました。初日は、三期目を迎えた小沢市長が「一つの奥州市」を創り上げるため、粉骨砕身努力すると平成30年度の施政方針を述べました。一般

質問には新人議員7人を含む23人が登壇し、市長、教育長等の考えをたてました。議案審議では、肉付け予算を盛り込んだ平成30年度一般会計補正予算をはじめ、教育委員会委員1人と農業委員会委員24人の人事案件や総合水沢病院における医療事故損害賠償の額の決定に関する議案等を審議し、いずれも原案通り可決しました。

ILC誘致実現と協働のまちづくり推進に強い意欲を示す

6月1日に開会した30年第2回定例会は、3月の市長選後の最初の定例会であり、小沢市長は、施政方針演述でマニフェストに掲げた4つの柱を着実に具現化し、「地域の個性がひかり輝く自治と協働のまち」実現に強い決意を示しました。

「地域コミュニティの充実に向けた協働のまちづくり」では、市内すべての地区センターが地区振興会による指定管理となったことから、地域がより主体的に地域づくりに取り組めるよう庁内支援体制の強化や財政支援の充実を進めるほか、「子どもにやさしいまちづくり」では、子供を安心して生み

育てる環境づくりに向け、妊産婦タクシー乗車券給付事業など交通費助成、産後ケアの充実による支援策を掲げました。

一般質問には新人7人を含む23人が登壇し、子育て支援や新市立病院建設、国際リニアコライダー、災害対策など、市政課題全般について市当局にたてました。議案審議では、一般会計補正予算など16件を原案通り可決。30年度の一般会計補正予算は、市長選後の政策的経費を盛り込んだ肉付け予算で、14億5918万円を増額し、567億9025万円としました。主な歳出では、旧衣川総合支所や旧衣川公民館な

どの建物解体工事費1億1156万円、大谷選手応援事業費350万円、羊産地拡大支援補助事業100万円などが盛り込まれました。また、総合水沢病院における医療事故の損害賠償額2億3000万円も可決しました。今定例会の議案審議や一般質問を通じ、新たな工業団地の造成整備をはじめ、子ども医療費助成の高校生までの拡大や総合水沢病院の耐震化、市役所総合支所のグループ制の導入などを検討していることも明らかにされました。



補助が決定した羊産事業

議員発議案4件可決

国への意見書提出は、▽主要農作物の種子の安定供給及び品質確保▽学校給食の無償化▽公文書の諸問題の真相究明並びに適正管理及び改善▽請願採